

科目番号	1502	領域区分	看護実践開発学領域	
学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
1・2	前期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	看護実践開発特論Ⅱ【対象看護開発論】 (Clinical Nursing Practice Development Ⅱ : Exploration of Patient and Family Needs)			
担当教員名	谷本 真理子／阿部 桃子／原田 竜三			
授業の概要及び到達目標				
<p>急性期や慢性期などの看護の対象の状態特性や、小児期や老年期などのライフステージにおける対象特性に焦点をあてたテーマを設定し、理論的理解と実践事例の分析ならびに社会的背景等から看護における対象のニーズを検討する。</p> <p>講義では、受講生の関心領域に沿ったテーマを設定し、課題のプレゼンテーションとディスカッションを行う。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テーマに関連する概念、理論を説明できる。 2. 理論的にテーマについて解釈したことを説明することができる。 3. テーマに関する看護事例を詳述できる。 4. 看護事例に基づき、対象のニーズを説明することができる。 5. テーマにおける対象のニーズについて、1～4及び社会的動向、先行研究の知見を統合して説明することができる。 6. 5に基づき、テーマに関する看護実践開発の方向性を説明できる。 <p>本科目の履修により、受講生は、演繹的思考、帰納的思考を用いて看護の実践状況を俯瞰し、実践開発の論点を焦点化する論理的思考を修得する。</p>				
準備学習等				
<p>講義は、受講生が一つのテーマを選択し、各学生が準備した資料に基づき、講義時間内でプレゼンテーションとディスカッションを行う。授業各回の内容に応じた事前準備を各自行うことが必要である。受講生は、授業前に各受講生から配信された授業資料を熟読し、討議に備える。</p>				
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション内容等(50%)、最終レポート(50%)にて総合的に評価する。 ・最終レポート (A4 2枚 2,000字程度) : 授業内容を踏まえたうえで、対象のニーズに即した看護開発の可能性と方向性を論述せよ。 			

テキスト	・なし
参考図書	・後日提示する。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・オフィスアワー：授業終了後。 ・最終レポートは、最終授業で討論に用いる。

授 業 計 画

第1回 : オリエンテーション、看護における対象のニーズの捉え方 (谷本、阿部、原田)

第2～5回 : 理論／概念に基づく看護における対象のニーズの導出 (谷本、阿部、原田)

第6～9回 : 看護実践事例に基づく対象のニーズの導出 (谷本、阿部、原田)

第10～13回 : 理論／概念、実践事例、関連文献の統合による対象のニーズ探求
(谷本、阿部、原田)

第14～15回 : まとめ 対象のニーズに即した看護開発の方向性と可能性 (谷本、阿部、原田)